

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 梶山広美
 編集人 山田 真

No.396 目次

- ◆New Year パーティー開催報告…………… (2)
- ◆スキルアップセミナー開催報告…………… (3)
- ◆尾張東地区研修会に参加して…………… (4)
- ◆コーヒーブレイク…………… (4)
- ◆海岸清掃ボランティア募集について…………… (5)
- ◆会誌「らぼ」原稿募集…………… (7)
- ◆第53回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会…………… (8)
- ◆検体採取等に関する
厚生労働省指定講習会について…………… (8)
- ◆研究会…………… (9)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第33回) …………… (10)

日臨技報告

日臨技理事・愛臨技副会長 中井 規隆

平成27年1月23日に第5回理事会が開催され、総務、国際、渉外、学術、認定センターの各部門からの定例報告があり、国際部門からはASCP (American Association for Clinical Pathology) への短期留学制度設立に向けて検討していること、渉外部門からは検体採取等に関する厚生労働省指定講習会についての報告、学術部門からは新しく出版される教本シリーズが第64回日本医学検査学会時に販売できるように作業中であり、書店での購入も可能になることなどが報告されました。議題としては、次期総会においては電磁的方法による議決を可能とするための開発に着手することが提案され承認されました。この方法は現在の定款の第21条に「総会に出席できない正会員は、予め通知された事項について書面又は電磁的方法により議決し、又は、他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。」とあり、それに則した運用となります。

その後、TKP品川ガーデンシティ・ネクサスにおいて「平成26年度日臨技情勢報告会」が開催されました。日臨技宮島会長からは、昨年6月に改正された「臨床検査技師等に関する法律」の改正の経緯や、今後大きな課題になると思われる「2025年問題」における臨床検査技師のあり方等を踏まえ「検査説明・相談のできる技師育成事業」や「検体採取指定講習会」などの必要性を講演していただきました。

臨床検査技師の業の中で、採血以外で医療行為として検体採取が可能になったことは、①検査前の説明 ②採血・検体採取 ③検査の実施 ④報告書の作成 ⑤検査結果の説明 と検査の一連の課程全てに責任を持って従事できるということです。また新たな価値観の創出が期待できることであり、具体的には検査相談技師や病棟検査技師そして病院診療から在宅診療へ形体が変わる医療における訪問検査技師など新しい活躍の場が広がる可能性もあります。

その後の前厚生労働大臣の田村憲久衆議院議員の特別講演では、内閣府が進める医療戦略と各種取り組みについて説明があり、今後の社会保障制度を持続可能にするためには、財源の確保と予防・健康・高齢化社会への対応が重要であると述べられました。

日本の医療・福祉制度が大きく変革していく中で、日臨技も政府や厚生労働省の動きを踏まえながら事業を進めていく必要性を再確認し、病院再編だけでなく臨床検査技師の業務にも変化が求められる事となります。

New Year パーティー開催報告

平成27年1月16日(金) 名古屋国際センタービル25F東天紅におきまして愛臨技ニューイヤーパーティーが開催されました。会員76名及び賛助会員120名の総勢196名の方々にご参加頂きました。26Fの宴会場から名古屋の東部を見る夜景は一見の価値がありました。 組織部

2015 NEW YEAR パーティーに参加して

新たな年を迎え、愛知県臨床検査技師会主催のNew Yearパーティーが国際センタービル25階「東天紅」で開催されました。今回は例年と会場が変更になったとの事ですが、夜景が綺麗なことで料理も一層引き立ち、美味しく感じましたが、参加された方々はいかがだったでしょうか。

梶山愛臨技会長と松本日臨技副会長から、「検体採取業務などが加わったことにより、検査前説明、採血・検体採取、検査の実施、報告書作成、検査結果説明の全ての過程で臨床検査技師が関わるようになった」と新年の明るい挨拶を頂き、会は始まりました。技師会員だけでなく賛助会員も多数参加され

名古屋医療センター 棚橋真規夫
ていたのですが、会場は広く、たくさんの方とお話することができました。ビンゴゲームはされませんが、景品が用意されていたりとお酒を片手に、楽しいひと時を過ごすことができました。私個人としては、昨年まで在籍していた石臨技の時に中部圏支部活動でお世話になった安城更生病院の亀井先生との再会でき、嬉しく思いました。

このような楽しい会を毎年開催している役員の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。来年もより多くの方にご参加頂き、皆様が笑顔でお会いできることを楽しみにしています。



スキルアップセミナー開催報告

学術部長 滝野 寿

平成26年度学術部検査研究班合同企画によるスキルアップセミナーを、1月25日(日)に名古屋大学医学部 基礎研究棟4階 第4講義室で開催しました。参加者は106名でした。

セミナーは「診療に欠かせない良好な検査結果を得るために必要な検査説明 ～特に生理機能検査と体液検体検査について～」をテーマとし、午前は生理部門が「心電図」、「超音波」、「脳神経」、「呼吸機能」について、午後からは血液以外の体液検体における検査説明について「一般」、「微生物」、「病理・細胞診」の各研究班が講義を担当しました。

その後、参加者を3つのグループに分けて、2症例について検査説明を想定した質問を基にしたグループディスカッションを行いました。施設も部署も異なる者同士でしたが、直ぐに打ち解けて有意義な討論ができたと思います。お互いに新たな発見もあったのではないのでしょうか。セミナーの企画段階で

は、誰が誰のために行う検査説明なのか目的が定まらず企画委員の間でも随分と討議を重ねました。

日頃、他のメディカルスタッフからは「臨床検査技師は検査室にこもってばかりいる」と言われることが多いのですが、施設によっては感染制御チーム(ICT)や栄養サポートチーム(NST)、糖尿病指導などに積極的に取り組んでいる施設も多くあります。また、平成27年4月からは検体採取業務が臨床検査技師の業務範囲に含まれることとなり、厚生労働省指定の講習会が始まったところですので。今後ますます臨床検査技師が臨床治療やケアにかかわる機会も増えてくるものと予想されます。検体採取の場においても、検査内容の説明をする機会が増えると思われれます。確実に臨床検査技師もチーム医療の一員として、今以上に自覚を持たなければいけないと思いました。



尾張東地区研修会に参加して

平成27年1月31日に開催された尾張東地区研修会に参加しました。本研修会は、骨髄巨核球から産生されることは知られているがその産生様式は詳しく解明されていない血小板の産生機構をテーマとして開催されました。

従来、血小板は成熟した巨核球の細胞質に形成される分離膜が細かく分割されることによって産生されると考えられていました。骨髄内に巨核球がごく少数しか存在しないことや、培養が困難などの理由からその詳細は不明なままでした。しかし近年、試験管内での巨核球の培養が可能になり、さらに生体内での細胞組織を生きたまま可視化する技術の進歩によってより詳細な血小板産生機構が明らかとなってきました。そして、現在では巨核球の細胞質から伸展する糸状の細長い胞体突起の膨隆や末端部分が

愛知県がんセンター中央病院 臨床検査部 後藤 謙介
血小板として放出されるという考え方が主流となっています。

今回の講演では、造血器細胞から分化した巨核球前駆細胞が成熟しながら骨組織辺縁から類洞血管まで移動して張り付き、血管内に胞体突起を伸ばし血小板を末梢へ放出する様子を分かりやすく図に示していただきました。また、その様子をマウスの生体内で観察したものを映像として実際に視聴することができ、血小板が骨髄の中でどのように産生されているのかを鮮明にイメージできました。解析技術の向上や研究の進歩によって今まで明らかではなかった生体機構が次々と解明されている現状を知り、その成果が今後どのように医療の発展に関わっていくのか想像の膨らむ研修会でした。



コーヒーブレイク Coffee break

尾張北親睦会 開催…!

小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁
去る1月31日(土)、尾張北地区親睦会を開催しました。例年までの飲み会をちょっと指向を変えて今年度は“なばなの里ツアー”なるものを企画してみました。

ツアー内容は、マイクロバスでの送迎、なばなの里入場、イタリアンレストランコース料理、ベゴニアガーデン入場、展望乗り物券付きで破格の値段!!で開催しました。

このような企画は初めてで、宣伝不足、また講習会等とも重なり、参加者は8名にとどまりましたが、おしゃべりだけでなく、寒さの共有(特に展望最上部では寒さに代わり痛さを共有)、満員電車のような混雑の共有、イルミネーションの感動の共有、ベコニア観覧やすらぎの共有、寿司詰めギューギューみんなチリジリバラバラの共有…?など8名がひとつになった瞬間を感じました…(笑)。

仕事の話もさることながら、参加者個々の人間性が垣間見え素晴らしいツアーとなりました。来年も…を合言葉に(やっと)寒さから解放されました。

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 を支える小さな小さな集まりでした…(笑)



～組織部からのお知らせ～

Shore cleaning volunteer

海岸清掃ボランティア募集について

毎年、恒例となっている海岸清掃ボランティア活動を今年は、風光明媚な蒲郡の竹島海岸で実施することになりました。このボランティア活動の目的は、公益活動の一環として社会における諸問題に個人や団体の力を借りて解決して行こうとするものです。

愛臨技では、愛する地元を綺麗にし、参加して頂いた会員のハートも更に綺麗になるといった一石二鳥の活動をしていますので、是非ご参加頂きますよう宜しくお願い致します。

なお、海岸清掃終了後は潮干狩りや近隣の観光も楽しめますので、ご家族や友人をお誘いのうえ、東三河の地を訪れてみてはいかがでしょうか。



記

日 時：平成27年4月19日(日曜日) 午前10時現地集合 小雨決行
*開催・中止の情報は下記愛臨技ホームページにてご確認願います。

当日 午前6時ごろ掲載いたします。

<http://www.aichi-amt.or.jp/>

場 所：蒲郡竹島海岸

内 容：海水浴場周辺の清掃活動（終了後、潮干狩りができます）

参加資格：愛臨技会員・賛助会員及びその家族、主旨にご賛同頂ける方

潮干狩り参加費：1,000円（小学生未満 無料）

生涯教育履修点数：基礎教科 20点

※申込方法

別紙の「ボランティア応募 返信ファックス用」に必要事項を記入し愛臨技事務所宛（FAX 052-586-5680）へお願いします。なお、4月10日(金)までにお問い合わせいたします。申込の方には、後日案内地図等を送付致します。（ホームページにも掲載します）

※注意事項

① 駐車場に限りがあります。お車でお越しの方は乗り合わせの上、ご協力をお願い致します。満車の場合はお近くの有料駐車場をご利用ください。

無料駐車場40台、有料駐車場400～500円

② 「軍手」および「くまで」などは各自ご持参ください。

③ 正会員の方は「会員証」をご持参ください。

※問合せ先

岩尾 文彦 名古屋医療センター統括診療部臨床検査科
052-951-1111 (PHS 6669)



海岸清掃ボランティア応募 返信ファックス用

愛臨技事務所宛 FAX：052-586-5680

日 時：平成27年4月19日(日曜日) 午前10時00分現地集合 小雨決行
*開催中止の情報は愛臨技ホームページにアップします。

場 所：蒲郡 竹島海岸

愛臨技公益事業 海岸清掃ボランティア活動に参加します。

施設名・会社名 ()

	氏 名	会員番号・その他
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※用紙が不足の場合はコピーしてください。

※問合せ先 組織部：岩尾 文彦
名古屋医療センター統括診療部臨床検査科
TEL：052-951-1111 (内線 6669)

申込締切日：平成27年4月10日(金)

平成27年6月に刊行予定している会誌「らぼ」66巻 について次の要領で原稿を募集します。

1. 未発表の学術研究論文

- ・投稿規程は(社)日本臨床衛生検査技師会発行の「医学検査」に準ずる。
- ・CDに入力し、CDと印刷したものを提出する。尚CDには施設名、氏名を明記する。

2. 会員業績（出版物・論文発表・学会発表）

- ・平成26年4月1日～平成27年3月31日までに発表されたもので、筆頭者が愛臨技会員で検査学術関連のものに限る。
- ・学会抄録は論文発表には含めず、学会発表の項に掲げる。
- ・所定のExcelに入力後CDにコピーし、CDと印刷したものを提出する。CDには施設名、氏名を明記する。

3. 入力ファイルについて

体裁は 愛臨技ホームページ「事務局からのお知らせ」に掲載しますので、そこからダウンロード（Excel形式）してください。（下記、入力例）

【論文】 氏名 雑誌名 巻 号 最初の頁～最後の頁 論文題名 共同研究者						
筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
愛臨技 太郎	検査と技術	43	1	1～10	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄

【出版物】 氏名 書名 最初の頁～最後の頁 題名 発行所				
氏名	書名	頁	題名	発行所
愛臨技 太郎	Medical Technology	1～10	〇〇における・・・	医試薬出版

【学会・講演会・研修会】 氏名 回数を明記した学会名 開催月日 演題名 共同発表者				
発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
愛臨技 太郎	第 63 回日本医学検査学会	5月17日 ～18日	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄

3. 締め切りおよび送付方法

- ・締め切りは、平成27年4月30日
※会員業績については編集作業の都合上締め切り後の到着分は次号になります。
- ・送付方法、
封筒に「会誌らぼ 研究論文または会員業績原稿在中」と明記し、愛臨技事務所宛に送付してください。

広報部からのお知らせ

広報部では会誌「らぼ」の掲載内容について検討考えております。会員の皆様の御意見をお聞かせください。ご意見は下記メールアドレスにお願いいたします。

Mail: makoto_yamada@chukyo-hosp.jp

第53回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病の食事・運動療法up to date

日時：平成27年3月22日(日) 13:00～16:30

場所：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂

一般講演

司会：あさひ病院 横地 正裕
「糖尿病患者の運動機能障害について」
済衆館病院 瀧野 皓哉
「肥満外来における
リハビリテーション技術科の取り組み」

豊田厚生病院 竹内 好正
「運動量と食事を考慮した糖尿病療養指導
～どうしたら運動を継続させられるのか～」
さくら総合病院 磯村 隆倫

特別講演

司会：東海記念病院 藍川 智津
「基礎カーボカウントと応用カーボカウン
トは何が違う？～糖尿病療養指導に欠か
せない2つのカーボカウントの知識～」
岡崎市民病院 浅田 英嗣

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新の
ための研修会」として第1群1単位、第2群1単
位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、
その他参加者1,000円

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について

本講習会は、臨床検査技師等に関する法律の一部が改正され、平成27年4月1日から臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取などが追加されることにより、平成27年4月1日時点で既に臨床検査技師免許を取得している方に義務付けられる厚生労働大臣が指定する研修会です。

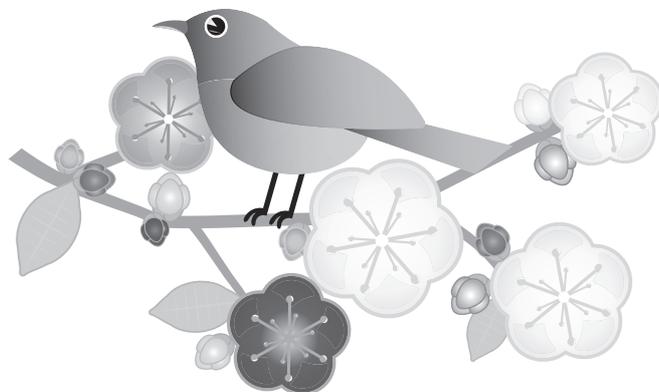
東海地区の講習会（名古屋市で開催）は愛臨技のホームページにおいて「事務局からのお知らせ」や会報らぼニュースで逐次お知らせします。

次回開催予定

4月11（土）・12日（日）名古屋市立大学附属病院

2015年2月10日現在 正会員数 2,853名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。



研究会

生物化学分析検査・生理検査研究班合同

専門教科：20点

日時：平成27年4月4日(土) 15:00～17:00

場所：豊田厚生病院 2階講義室
豊田市浄水町伊保原500-1

テーマ：脂質代謝とNASH・NAFLD

講師：1. 脂質代謝の基礎

大雄会 総合大雄会病院

森部 龍一

2. 非アルコール性脂肪性肝疾患

名古屋第一赤十字病院 山森 雅大

3. 超音波でみる肝臓

ーびまん性肝疾患を中心にー

藤田保健衛生大学 医療科学部

刑部 恵介

司会：厚生連安城更生病院

鈴木 美穂

刈谷豊田総合病院

大島 彩

内容：脂質代謝の基礎から非アルコール性脂肪性肝疾患の病態について、画像所見も併せて解りやすく解説します。多くの方の参加をお待ちしております。

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年4月4日(土) 15:30～18:00

場所：名城病院 地下大会議室

テーマ①：学会レビュー

『臨床微生物学会をより詳しく知りたい!』

講演：

1. 「血液培養よりBrachyspira pilosicoliが検出された1症例」

刈谷豊田総合病院

犬飼ともみ

2. 「海外での医療暴露歴がある患者より複数の多剤耐性菌が検出された症例」

名古屋第二赤十字病院

山田 直輝

3. 「腸内細菌科細菌のβ-ラクタマーゼ産生性確認を簡便化する試み」

名古屋大学医学部附属病院

大蔵 照子

4. 「AmpC/ESBL鑑別ディスク, シカベータテストを用いた薬剤耐性菌検出について」

小牧市民病院

西尾美津留

テーマ②：『微生物検査データをインフェクションコントロールへ』

小牧市民病院

宮木 祐輝

刈谷豊田総合病院

藏前 仁

司会：名城病院

池崎 幸司

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年4月11日(土) 15:00～17:00

場所：カーク本社ビル

テーマ：細胞診検査の精度を高める

講師：パパニコロウ染色の原理

染色についてのアンケート結果報告

東海市民病院

吉本 尚子

パパニコロウ染色の検討

名城病院

橋村 正人

体腔液の細胞診

公立昭和病院

濱川 真治

司会：西尾市民病院

中村 広基

内容：今回の研究会は、会員施設のパパニコロウ染色が、より判断しやすくなるように、講演を元にディスカッションしたいと考えています。また、例年のフォトサーベイにて正解率の芳しくない体腔液について、濱川先生の講演を企画しました。本企画は、日本臨床細胞学会のクレジットの申請をしております。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くこととなります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第33回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「医療従事者の健康管理と環境管理」についてご紹介いたします。

医療機関にとって、労働者が健康で働き続けることは重要な課題です。そのため、法令に定める健康管理や環境管理の的確な実施を行うためにあたり、このガイドラインを活用していただくため、是非ご活用ください。今回は特殊健康診断の“有機溶媒ごとの検査項目”と“尿中代謝産物の分析項目と分布”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

表2 有機溶剤ごとの検査項目

有機溶剤名称	検査項目
エチレンジクロールモノエチルエーテル エチレンジクロールモノエチルエーテルアセテート エチレンジクロールノルマルモノブチルエーテル エチレンジクロールモノメチルエーテル	血色素量 赤血球数
オルトジクロロベンゼン、クレゾール、クロロベンゼン クロロホルム、四塩化炭素、1・4ジオキサン 1・2ジクロロエタン (別名二塩化エチレン) 1・2ジクロロエチレン (別名二塩化アセチレン) 1・1・2・2テトラクロロエタン (別名四塩化アセチレン)	AST、ALT、γ-GT
キシレン	尿中のメチル馬尿酸量
N・N-ジメチルホルムアミド	AST、ALT、γ-GT、 尿中N-メチルホルムアミド量
スチレン	尿中のマンデル酸量
テトラクロロエチレン トリクロロエチレン	AST、ALT、γ-GT 尿中のトリクロロ酢酸量又は 総三塩化物量
1・1・1トリクロロエタン	尿中のトリクロロ酢酸量又は 総三塩化物量
トルエン	尿中馬尿酸量
二硫化炭素	眼底検査
ノルマルヘキサン	尿中2・5ヘキサンジオン量

表3 尿中代謝産物の分析項目と分布

有機溶剤名称	尿中代謝物	単位	分布1	分布2	分布3
キシレン	メチル馬尿酸	g/L	0.5以下	0.5超 1.5以下	1.5超
N・N-ジメチルホルムアミド	N-メチルホルムアミド	mg/L	10以下	10超 40以下	40超
スチレン	マンデル酸	g/L	0.3以下	0.3超 1以下	1超
テトラクロロエチレン	トリクロロ酢酸 又は 総三塩化物	mg/L	3以下	3超 10以下	10超
	トリクロロ酢酸 又は 総三塩化物	mg/L	3以下	3超 10以下	10超
1・1・1トリクロロエタン	トリクロロ酢酸 又は 総三塩化物	mg/L	3以下	3超 10以下	10超
	トリクロロ酢酸 又は 総三塩化物	mg/L	10以下	10超 40以下	40超
トリクロロエチレン	トリクロロ酢酸 又は 総三塩化物	mg/L	30以下	30超 100以下	100超
	トリクロロ酢酸 又は 総三塩化物	mg/L	100以下	100超 300以下	300超
トルエン	馬尿酸	g/L	1以下	1超 2.5以下	2.5超
ノルマルヘキサン	2・5-ヘキサンジオン	mg/L	2以下	2超 5以下	5超
【備考】					
分布1、2、3は、正常と異常の鑑別をするものではなく、ばく露量を反映する指標です。					
分布1から3に向かうほど体内へのばく露が大きい事を意味し、分布2と3の境界値は、米国産業衛生専門家会議 (ACGIH : American Conference of Government Industrial Hygienists) の生物学的ばく露指標 (BEI : Biological Exposure Indices) と等しい値が用いられています。					